

性に関する指導の充実

～指導計画作成と外部講師活用の体制構築を通して～

1 主題設定の理由

近年、性に関する意識や価値観の多様化、インターネットによる性情報の氾濫や性犯罪など子どもを取り巻く性に関する問題が急増している。また、未成年者の人工妊娠中絶や性感染症の増加などが社会問題にもなっており、学校における性に関する指導の充実が求められている。

印西市では、2015年度に実施した思春期保健事業のモデル事業をきっかけに、市健康増進課と中学校が連携を図り、「いのちの授業・性に関する指導」が開始されることになった。中学校で行う指導の共通化が図られたことから、小学校についても内容を共通化し、専門的な外部講師を活用した指導を行い、中学校につながる指導をしていきたいと考えた。

そこで、小中学校における性に関する指導の充実を図るため、外部講師を活用した系統的な性に関する指導の実現を目指し、本主題を設定した。

2 研究仮説

- (1) 小中学校で発達段階に応じた系統的な指導を専門的な外部講師を活用して実施することで、性に関する知識や理解を深め、いのちの尊さを考えさせることができるであろう。
- (2) 外部機関（市健康増進課・市教育委員会）と協働・連携し、外部講師活用の体制をつくることで、性に関する指導が計画的・継続的に実施できるであろう。

3 研究内容

- (1) 性に関する指導計画の作成（印西市共通）
- (2) 性に関する指導（卒業前指導）の内容検討と実施
- (3) 外部講師活用の体制づくり

4 結論

- ・性に関する指導計画を作成し、専門的な外部講師を活用したことで、児童生徒の知識・理解が深まり、いのちの尊さや自他を大切に思う気持ちを高めることができた。
- ・外部機関との協働・連携により、小中学校で専門的な外部講師活用の体制が構築され、性に関する指導が計画的・継続的に実施できるようになった。



3 部会 印西市養護教諭部会
提案者 印西市立六合小学校 越川恭子
印西市立西の原小学校 須藤由佳

1 はじめに

近年、性に関する意識や価値観の多様化、インターネットによる性情報の氾濫や性犯罪など子どもを取り巻く性に関する問題が急増している。また、未成年者の人工妊娠中絶や性感染症の増加などが社会問題にもなっており、学校における性に関する指導の充実が求められている。

印西市では、2015年度に実施した思春期保健事業のモデル事業をきっかけに、市健康増進課と中学校が連携を図り、「いのちの授業・性に関する指導」が開始されることになった。中学校で行う指導の共通化が図られたことから、小学校についても内容を共通化し、専門的な外部講師を活用した指導を行い、中学校につながる指導をしていきたいと考えた。

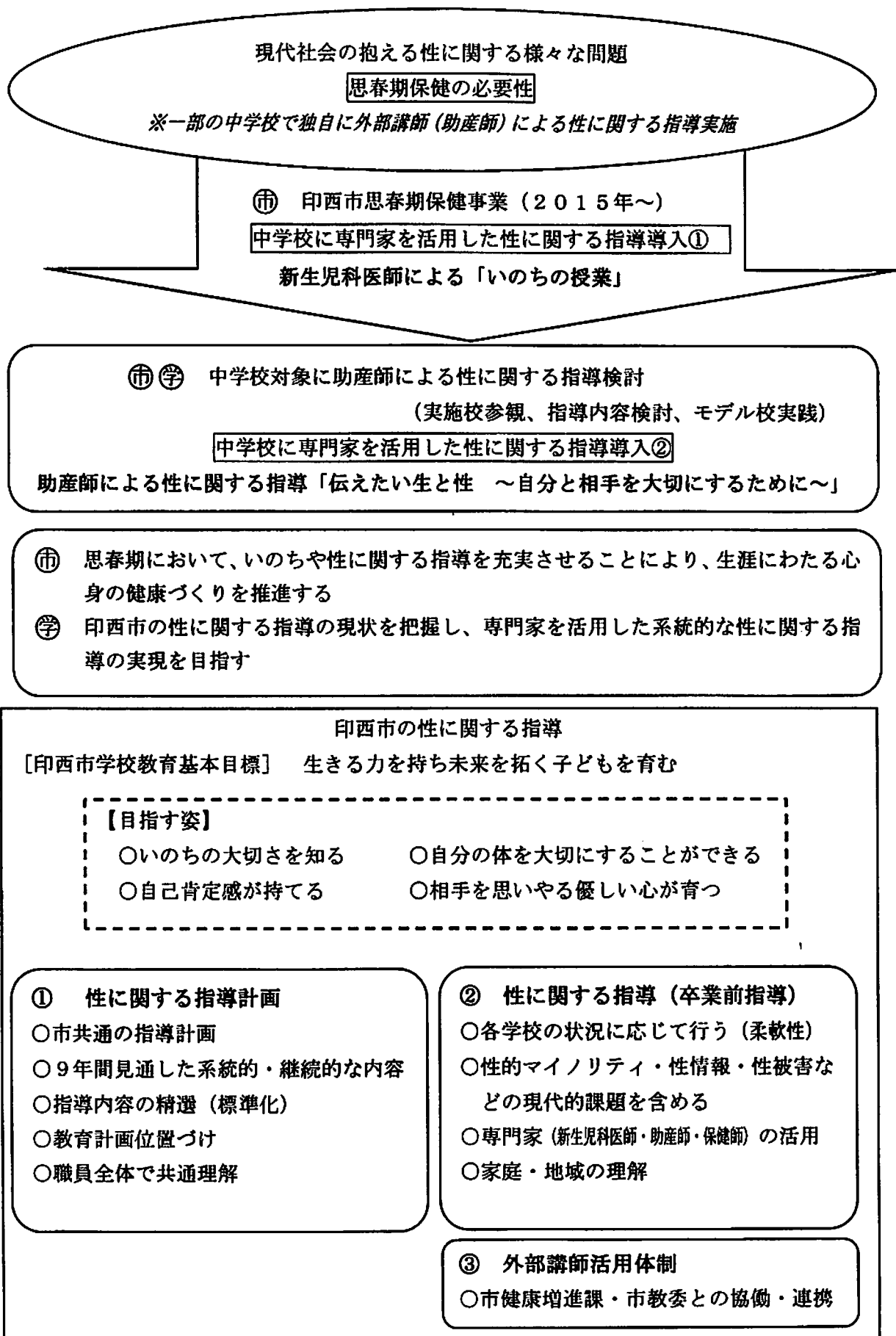
そこで、小中学校における性に関する指導の充実を図るため、外部講師を活用した系統的な性に関する指導の実現を目指し、本主題を設定した。

2 研究仮説

- (1) 小中学校で発達段階に応じた系統的な指導を専門的な外部講師を活用して実施することで、性に関する知識や理解を深め、いのちの尊さを考えさせることができるであろう。
- (2) 外部機関（市健康増進課・市教育委員会）と協働・連携し、外部講師活用の体制をつくることで、性に関する指導が計画的・継続的に実施できるであろう。

3 研究経過

2015年度 (平成27年度)	*市健康増進課主催のモデル事業として実施 ○いのちの授業 小学5・6年1校(新生児科医師) ○性に関する指導 中学3年1校(助産師)
2016年度 (平成28年度)	*中学校指導内容検討(健康増進課保健師による実施校参観) ○いのちの授業 中学校2校(新生児科医師) ○性に関する指導 中学3年1校(助産師)
2017年度 (平成29年度)	*市内養護教諭へ実態調査・集計 *健康増進課保健師と合同研修会(5回) *小学校指導内容検討、資料作成 ○いのちの授業 中学校4校(新生児科医師) ○性に関する指導 中学3年3校・小学6年2校(助産師)
2018年度 (平成30年度)	*「性に関する指導計画」作成 *小学校指導内容検討、資料作成 *健康増進課保健師・助産師と合同研修会(6回) ○いのちの授業 中学校3校(新生児科医師) ○性に関する指導 中学3年3校・小学6年3校(助産師)
2019年度 (令和元年度)	*健康増進課保健師と合同研修会 *小学校指導内容及び資料確認 ○いのちの授業 中学校3校予定(新生児科医師) ○性に関する指導 中学3年予定・小学6年予定(助産師)



5 研究内容

[仮説1について]

(1) 性に関する指導計画の作成

各学校での性に関する指導の現状を把握するために、2017年7月に印西市内の養護教諭を対象として実態調査を行った。

実態調査の結果、次のようなことがわかった。

- ①学校保健計画に性に関する指導を位置づけている学校は多いが、性に関する指導計画を作成している学校は少ない。
- ②指導案や教材等、市で共通して使用できるものがあると、とりくみやすい。
- ③養護教諭が授業を行う場合、保健室が空室となり、校内での周知が必要となる。
- ④授業時間の確保が難しいため、歯科保健指導や小児生活習慣病予防検診事後指導のように市としての指導体制が確立されていると実施しやすい。
- ⑤中学校のように、市健康増進課による思春期保健事業を、小学校でも実施してほしい。

上記の結果を受けて、小学校から中学校までの9年間で系統的・継続的に指導するために、印西市としての性に関する指導計画を作成した。(資料1)

作成する際は、学校の実態を考慮し、他教科との関連を確認するために教科書等を参考にした。

(2) 性に関する指導(卒業前指導)の内容検討

市健康増進課との連携について

○中学校の指導

市健康増進課が2015年度に思春期保健事業としてモデル事業を実施した。その結果、新生児科医師による「いのちの授業」を、2016年度から3年周期で全中学校に実施することになり、その事業が市健康増進課と中学校のより密な連携体制を整えていくことになった。

また、助産師による「性に関する指導」についても、すでに独自に実施している中学校の協力のもと、指導内容や資料が検討され、市健康増進課の助産師・保健師による授業が開始されることになった。授業前には、実施校の養護教諭と助産師・保健師が生徒の実態や指導内容の確認を行い、授業後には、生徒や職員の感想などを参考にして内容の再考をした。

○小学校の指導

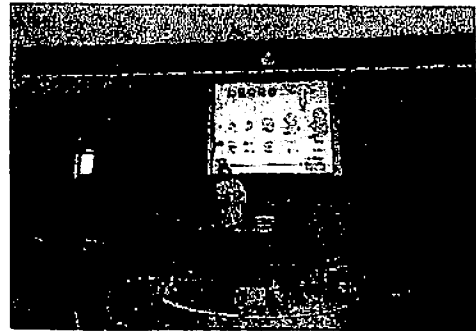
中学校で始まっている思春期保健事業につなげられるように、小学校でも外部講師を活用した指導を始める契機ではないか、という声が市内養護教諭から上がった。そこで、市内養護教諭の希望をまとめ、保健指導班と市健康増進課で授業を行う学年・指導内容等について検討を行った。その結果、6年生で小学校のまとめとなる性に関する指導を実施することとした。

学習指導要領の各教科、特別活動の性に関わる指導内容を確認し、中学校と系統性のあるように配慮をした。さらに、自分らしく生きることや、相手を理解して思いやり大切にする心の教育が、近年関心が寄せられている性的マイノリティの問題を考えることにつながると考え、授業内容で触れることとした。

(3) 性に関する指導（卒業前指導）の実践

○中学校 「伝えたい生と性 ～自分と相手を大切にするために～」(資料2)

- ①対象 中学3年生
- ②内容
 - ・思春期の体の変化
 - ・生命誕生のドキュメント(ビデオ)
 - ・妊娠、避妊、性感染症
 - ・性被害、デートDV



③生徒感想(資料3)

○小学校 「春を迎える君たちへ」(資料4)

- ①対象 小学6年生
- ②内容
 - ・受精の仕組みと胎児の成長
 - ・思春期の体と心
 - ・自分らしさ
 - ・大切ないのち



③児童感想

- ・自分のいのちは、世界でひとつしかない大切なものだと感じた。
- ・今まで勉強したこともあったけど、知らないこともたくさんあって勉強になった。
- ・親にイラっとすることがあるけど、それも父と母がいて自分が生まれたから、二人に感謝したい。
- ・自分の好きなことを言えない時もあるけど、はっきり言っていいのだと思った。
- ・思春期は自分だけでなく友だちも心が変わるから、その時には優しくしたい。
- ・人はたくさんつながり合っていて、先祖が一人でもかけていたら自分がいなかったと思うと、自分を大切にしたい。

④事前・事後アンケートについて(資料5・6)

〔調査時期〕平成31年2月

事前アンケート：授業前1週間以内 事後アンケート：授業直後

〔対象〕小学校6年生(A小：6人 B小：82人 C小：87人)

〔調査方法〕質問紙調査(資料5)

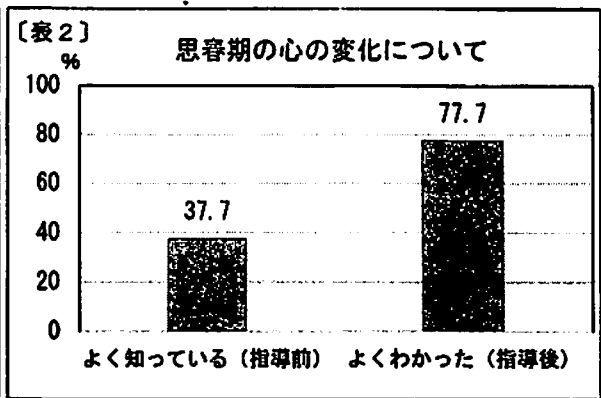
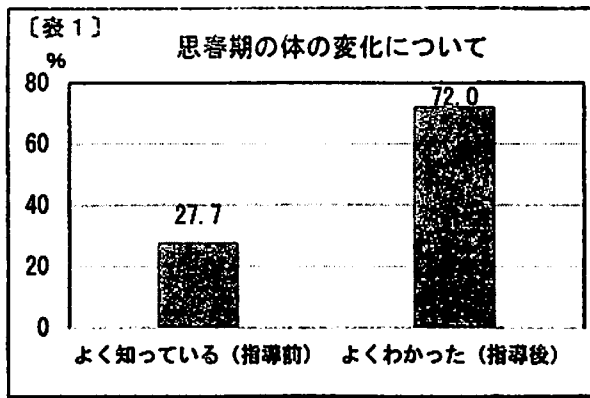
〔調査内容〕理解の状況と意識の変化をみるために、授業を実施した3校の児童に質問紙調査を行った。

〔調査結果と考察〕

思春期の体の変化については、指導前に「よく知っている」と答えた児童は、平均27.7%だったが、指導後に「よくわかった」と答えた児童が平均72.0%となった。〔表1〕

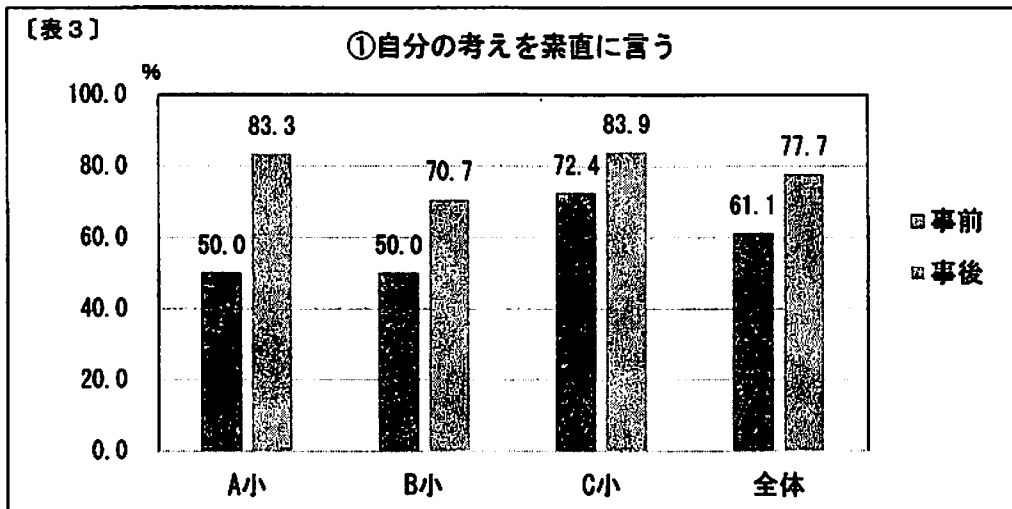
また、思春期の心の変化についても、指導後に「よくわかった」と答えた児童が平均77.7%となり、指導前と比べると40.0%増えていた。〔表2〕

この結果から、これらは4,5年生の保健学習で既習の内容であるが、6年生で再度学習することで、知識の定着と理解が深められたことがわかる。

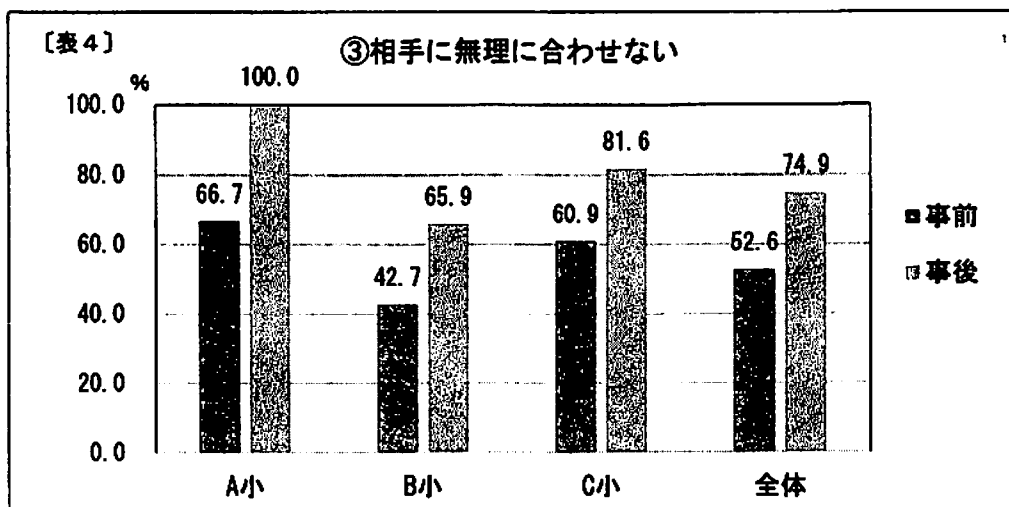


次に、2つのアンケートに共通した「自分も相手も大切にするために、どのようなことを心がけていますか？」の質問では、次の4項目で大きな変化が見られた。

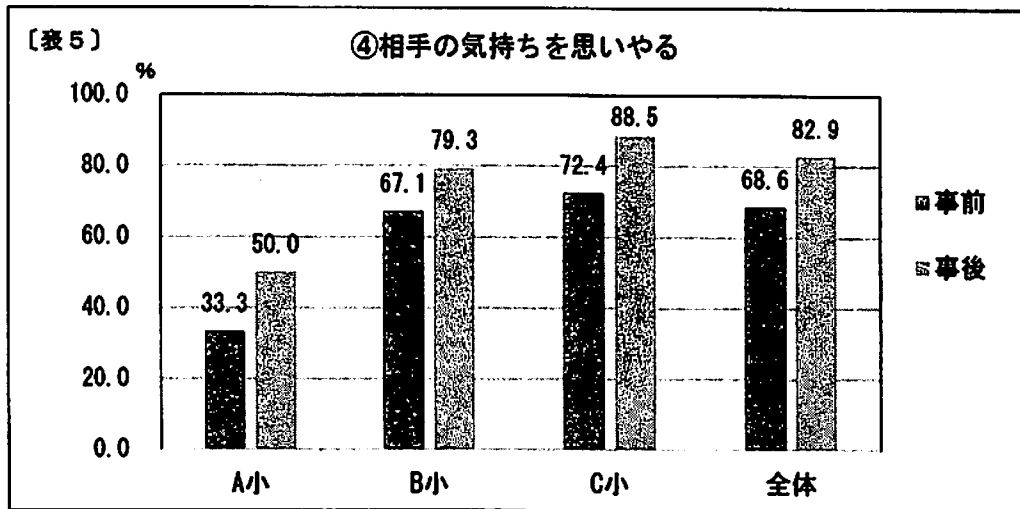
①「自分の考えを素直に言う」は、事前の平均が61.1%だったのに対し、事後は77.7%に増加した。〔表3〕



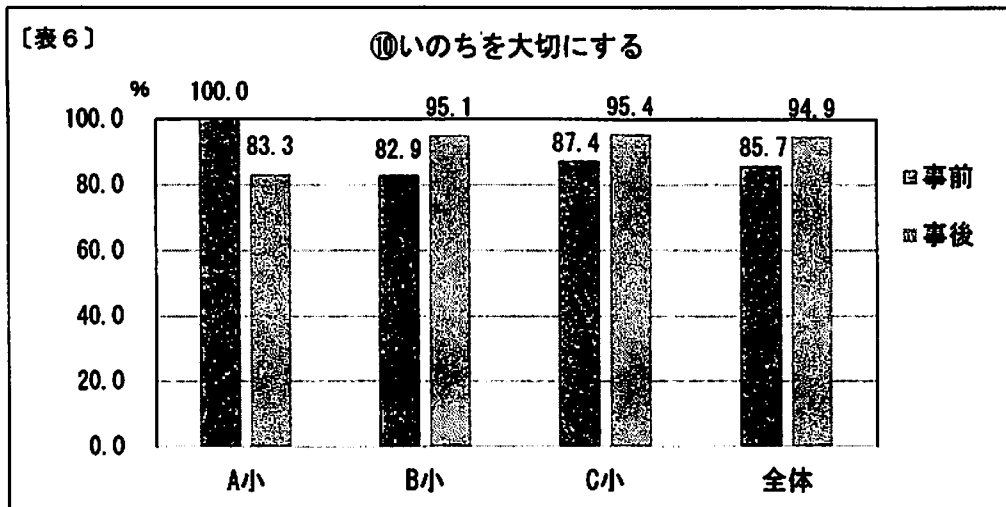
③「相手に無理に合わせない」は、事前の平均が52.6%だったのに対し、事後は74.9%に増加した。〔表4〕



④「相手の気持ちを思いやる」は、事前の平均が68.6%だったのに対し、事後は82.9%に増加した。〔表5〕



⑩「いのちを大切にする」は、事前の平均が85.7%だったのに対し、事後は94.9%に増加した。〔表6〕



これらの結果からも、性に関する指導により「自分らしさ」や「思いやり」の大切さ、「いのちを大切に思う気持ち」が高められたことがわかる。

⑤家庭への啓発

授業後には、指導内容の紹介と児童生徒の感想等を入れた資料を作成し、配付した。(資料7) また、市内小中学校の全家庭に配付する「印西市学校保健会報」にも特集記事を載せた。(資料8)

[仮説2について]

既存の体制（学校保健会事業）について

印西市の小中学校では、歯科保健指導・小児生活習慣病予防教育・栄養教室等の健康教育において、各分野の専門家の意見を取り入れ、指導内容の作成と共通化を図っている。

また、市教育委員会や市健康増進課等の外部機関と連携し、外部講師を活用した指導体制が整備され、全校で実践していることも特徴的である。指導にあたっては、外部講師の日程調整を市教育委員会が行うことで、各校の教育計画への位置づけや指導への理解と協力が得やすいため、計画的・継続的な指導として定着されている。

(1) 「始めの一步」市健康増進課との協働・連携

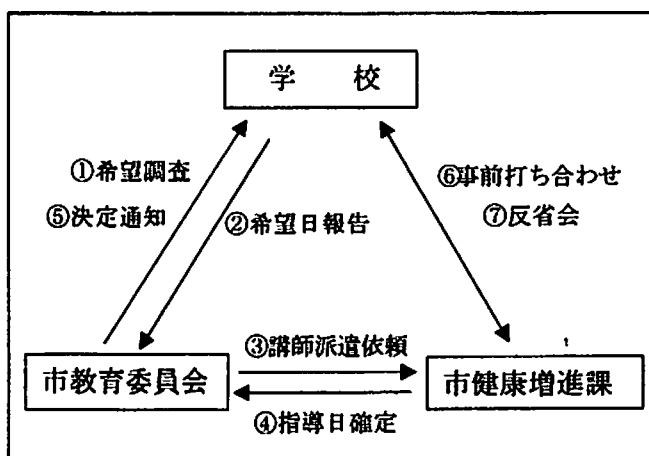
まず市健康増進課と、上記同様の体制づくりを進めていくことを確認した。すべての小学校で卒業前指導を実施すると、ある程度時期も重なるため指導者不足が心配された。そのため、市健康増進課の助産師・保健師を指導者として派遣できるように、合同研修会の実施やモデル実施校の参観などを行い、指導内容を共有し全校で実施できる体制を整えた。

(2) 市教育委員会との話し合い

研究班及び市健康増進課の各代表と市教育委員会で話し合いを行った。思春期保健事業を含めた現在の性に関する指導実施状況と、市内全校で系統的な性に関する指導の必要性について市教育委員会へ説明をし、指導への理解と外部講師派遣の日程調整の協力を求めた。印西市の教育施策として掲げる「生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む」にも通ずる指導であるとの理解を市教育委員会から得たうえで、全校での指導開始時期や各組織の役割分担や日程調整などの具体的項目を確認し、決定した。

外部講師活用のしくみと具体化（役割分担）

- ①市教育委員会は各校に希望調査をする。
- ②学校は指導希望日を市教育委員会に報告する。
- ③市教育委員会が調整窓口となり、市健康増進課に外部講師派遣の依頼をする。
- ④市健康増進課は各校の指導日を確定する。
- ⑤市教育委員会は決定日を各校に通知する。
- ⑥学校と市健康増進課は、子どもの実態や指導内容について事前に打ち合わせをし、授業を行う。
- ⑦授業の反省を行う。



(3) 教育計画への位置づけ

印西市として性に関する指導を計画的・継続的に実施していくためには、各校で教育計画に位置づける必要がある。

そのため、各校の養護教諭は、次年度の教育計画に「性に関する指導計画」を組み入れ、年度始めの職員会議で「性に関する指導計画」について提案し、全職員の共通理解を図ることが重要である。

6 研究の成果と課題

(1) 研究の成果

- 性に関する指導計画を作成し、専門的な外部講師を活用したことで、児童生徒の知識・理解が深まり、いのちの尊さや自他を大切に思う気持ちを高めることができた。
- 外部機関との協働・連携により、小中学校で専門的な外部講師活用の体制が構築され、性に関する指導が計画的・継続的に実施できるようになった。

(2) 今後の課題

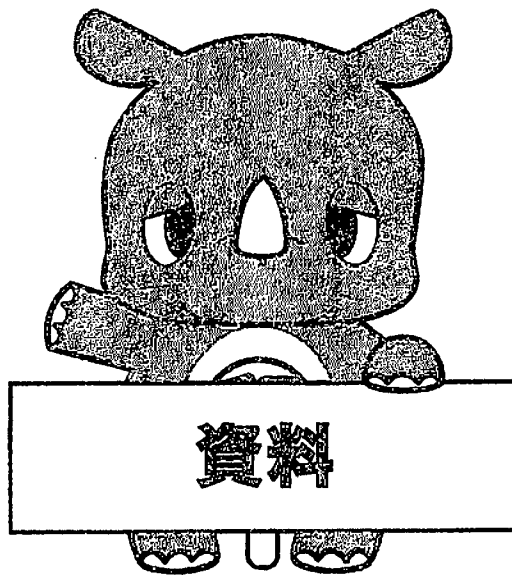
- 保護者への啓発活動については、授業参観やアンケートなどで、指導への理解と協力を一層求めていきたい。
- 外部講師による指導が講義形式に偏り、内容も多様であるため、指導方法や内容についての検討を重ねる必要がある。

<参考資料・文献>

- ・「生きる力」を育む小学校保健教育の手引き（文部科学省）
- ・性教育実践アイデアノート（東山書房 平成22年）
- ・学校における性教育の考え方、進め方（文部科学省 平成11年）
- ・性に関する指導の手引（福島県教育委員会）
- ・健やかな体を育む教育の在り方に関する専門部会これまでの審議の状況—すべての子どもたちが身に付けているべきミニマムとは？—（文部科学省 中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会 健やかな体を育む教育の在り方に関する専門部会 平成17年7月）
- ・性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施について（文部科学省 平成24年）
- ・印西市食育ミニマム2018
- ・小学生向け 生きるための心の教育（性教育）（渡會睦子 日本家族計画協会）
- ・中学生向け 生きるための心の教育（性教育）（渡會睦子 日本家族計画協会）

<共同研究者>

印西市立木刈小学校	五十嵐 和美	印西市立本埜小学校	浅川 好江
印西市立小倉台小学校	小堀 真理	印西市立船穂中学校	君塚 知恵
印西市立平賀小学校	滝澤 礼子	印西市立西の原中学校	小野寺 幸枝
印西市立いには野小学校	加藤 悦子	印西市立本埜中学校	高橋 美佐子
印西市健康増進課	片岡 綾	旧印西市養護教諭会	南 節子



性に関する指導計画

<基本目標>

生きる力をもち、未来を拓く子どもを育む

<めざす姿>

- いのちの大切さを知る
- 自分の体を大切にすることができる
- 相手を思いやる優しい心が育つ
- 自己肯定感が持てる

資料1

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3			
① 命の大切さ	<ul style="list-style-type: none"> ○ハムスターの赤ちゃん ○いのちのはじまり ○生きているじぶん (道徳) <p>・命あるものを大切にしようとする。</p> <p>・自分が生まれたころを振り返り、自分自身の成長を実感することで、生きることの素晴らしさについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○いまのほく、むかしのほく ○せい長かいだん ○いただきます (道徳) 	<ul style="list-style-type: none"> ○光祐くんのアサガオ ○ヒキガエルとロバ (道徳) <p>・一生懸命に生きることの素晴らしさについて考える。</p> <p>・命が多くの人に支えられていることを実感する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○おばあちゃんとの思い出 ○命 ○動物たちの命を守る (道徳) 	<ul style="list-style-type: none"> ○オオカミから教えられたこと (道徳) <p>・生命の尊厳について考える。</p> <p>・命がつながりの中にあることの素晴らしさや、命のかけがえのなさについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生かされている「大切な命」 (道徳) 	<ul style="list-style-type: none"> ○生命の尊重 (道徳・学活) (いのちの授業：新生児科医師) <p>・生命の尊厳を理解し、かけがえのない自他の生命を尊重することができる。</p>					
② 身体的側面	<ul style="list-style-type: none"> ○きれいな体 (学活) ・トイレの使い方を知る。からだをきれいにする方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分はっけん (生活) ・自分の成長を知る。 ・できるようになったことについて考える。 ○「おへそのひみつ」 (学活) ・生きることの素晴らしさについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日の生活と健康 (保健) 	<ul style="list-style-type: none"> ○育ちゆく体とわたし (保健) ・思春期の体つきの変化を肯定的に受け止めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生命尊重 (学活) ・命の誕生から胎児の成長の様子を知る。 	<p>○思春期を迎える準備(準備)</p> <p>・思春期の体と心の變化の價值観を育む(準備)</p> <p>・命の始まりも赤ちゃんが生まれる仕組みを知る(田西市保健師・助産師)</p>				<ul style="list-style-type: none"> ○心身の機能の発達 (保健体育) ・心身の機能の発達(二次性徴等)を知ることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○心身の形成 (学活) ・心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成ができる。
③ 精神的側面	<ul style="list-style-type: none"> ○おとこのこおんなのこ (学活) ・男女の体の違いに気づき自分や友達を大切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○みんななかよく (学活) ・男女の特徴からお互いのよいところについて考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ○育ちゆく体とわたし (保健) ・異性への関心が芽生えることを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思春期の体と心 (保健) ・思春期の心の特徴を知る。 ・心の変化に気づき、よりよい人間関係を作るための態度を身につける。 					<ul style="list-style-type: none"> ○思春期の心の變化 (保健体育) ・思春期の心の變化について理解する。 ○欲求やストレスへの対応 (保健体育) ・欲求やストレスへの対処方法ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○思春期の心 (学活) ・思春期の心の變化を知り、その不安と悩みの解決方法を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定の異性とのかわり (学活) ・特定の異性とのかわりて、望ましい人間関係をつくることができる。
④ 社会的側面	<ul style="list-style-type: none"> ○さそいにのらない (学活) ・声をかけられたときにことわることができる。 ・遊びに行くときの約束を知る。 <p>(日常・不審者対応について)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校にかよう道 (学活) ・登下校を安全にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○人のいやがること (学活) ・心や体を傷つける言葉や行動を知り、相手の立場になり慎重な行動がとれる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○情報化した社会とわたしたちの生活 (社会) ・性情報を正しく判断し、必要に応じて選択できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○薬物の害 (保健) ・煙草・飲酒 ・薬物の害について知り健康を考慮することができる。 ○病気の予防 ・エイズについて知り、感染予防の仕方や人権について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○性情報の選択 (保健体育) ・性情報を選択することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○異性とのかわり (道徳・学活) ・男女ともに、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○性感染症と予防 (保健体育) ・性感染症とその予防について理解することができる。 ○望ましい行動選択 (学活) ・社会の一員としての自覚と責任を持つことができる。 			

○伝えたい生と性
自分と相手を大切にするために

(田西市保健師・助産師)

資料 2

【中学校 使用パワーポイント教材抜粋】

「性」とは「心」と「生」 を考えること

「体のつくり」「生命」「道徳」「男女の心の違い」
「妊娠」「性感染症」「性の多様性」
「自分を大切にすること」・・・など



いやらしい話？

「生」きるための「心」の教育
さまざまなことを学ばなければならない

では今日のお話です。「性」（性別の性）という文字は、りっしんべん（立心偏）の「心」と、「生」（生きるの生）から成り立っています。

性を理解するためには、「体のつくり」…などさまざまなことを学ばないといけません。性のお話は、いやらしい話ではありません。ただ、もしかしたら、どうしても恥ずかしいと思う人もいるかもしれません。ちょっと無理だなと思ったら、心の中で一呼吸おいて、静かに目を閉じて構いません。

また、今日のお話は、「自分には関係ない」と思っている人はいませんか？

今日は、これから「生きていくために必要な心」のお話をします。ぜひ自分のこととして、真面目に、騒ぎ立てずに聞いて欲しいと思います。

子どもを育てる

みなさん、
簡単に考えていませんか？



お金が必要になるだけでなく、あなたたちの遊びに行きたい・勉強したいなどの自由も制限されることがたくさんあります。

収入、育児環境、心の準備・覚悟など、子どもを育てる準備が整っていることが必要です。

妊娠には適齢期があります。計画的に考えましょう！

子どもを育てるといことは、とてもお金がかかります。また、おむつを替えたり、授乳をしたり、泣いているのをあやしたりなど時間が拘束されます。

そのため、皆さんの遊びに行きたい、勉強したいなどの自由を奪うことになります。体が未熟な10代が妊娠するとリスクが高く、35歳を過ぎると妊娠しにくくなるとも言われています。

性は、自分のものです。
誰のものでもありません。
誰に合わせる必要もありません。



自分の意見を持ちましょう

繰り返しになりますが・・・

性は、自分のものです。誰のものでもありません。誰かに合わせる必要もありません。みなさんは、相手に嫌われたくない…と自分の気持ちを隠してしまうことも多いのかもしれませんが、でも、自分の体は自分のものです。自分しか自分の体を守る人はいません。自分の意見をしっかりと持ちましょう。

自分を大切にすること

ありのままの自分を認めることができる(自分を好きになる)
自分の考えを素直に言える
自分に正直に生きる(自分に嘘をつかない)
他人の意見に振り回されない、他人と比較しない
自分の感情や価値観を大切にする
自分を責め続けない
言い逃れをしない、その場しのぎをしない
断るべきときには、はっきりと断れる
自分以外の人を自分の考えに縛り付けない
自分の身を自分で守る



自分を大切にできなければ、人を大切にすることはできません

それでは、今日のまとめに入っていきます。

今日のテーマである「自分を大切にすること」ということは、どういうことかと言うと、自分を大切にできなければ、人を大切にすることはできません。

自分を大切に＝自分勝手、ワガママではありません。

自分勝手、ワガママは、自分の思いを相手に押し付けたり、思い通りになるように他人に強要することですから、自分を大切にすることは全く違います。

☆自分の意思をしっかりと持ちましょう！

男子、女子は、体も心も遠い。
お互いを大切にするためには、お互いを
理解しあわなければなりません。
自分の体を守れるのは自分だけ。嫌なことを強要されたときは、
断る勇気も大切です。



☆行動に責任を持ちましょう！

安易な性行為は、妊娠と性感染症のリスクを背負います。
「みんながやっているから…」、「友達に遅れをとりたくないから…」
「先輩に勧められたから…」など、人に無理やり合わせる必要は
ありません。
加害者にも被害者にもならないために、自分の行動に責任を持つ
ことが必要です。

☆自分と相手を大切にしましょう！

今ある命は、奇跡の連続から成り立っています。
自分を大切にできなければ、人を大切にすることはできません。
ありのままの自分を認め、自分自身を大切に生きましょう。

最後にみなさんをお願いしたいことは、

☆自分の意思をしっかりと持ちましょう！

☆行動に責任を持ちましょう！

☆自分と相手を大切にしましょう！

この3つを大切にしてもらいたいと思います。



みなさんには、いろいろな人生が待っています。
今の自分を大切にすることが将来の幸せにつながります！

これからみなさんは中学校を卒業し、それぞれの進路に向かって歩いていきます。

きっといろいろな人生が待っています。

どうかこれからも、自分と相手の体と心を大切にしていってください。

講話を聞いて、感想を書きましょう。
しっかり振り返り、心を込めて書きましょう。



自分や相手を大切にするためにお互いにどのように
行動するべきか考える機会にふたと思う。
LGBTの人がいるし、男女の違いもあるけど関係ない
では済ませずに責任を以て考えることが必要
だと感じた。悩みをアピに相談出来る
大人を見つけたらいいようにしたい。



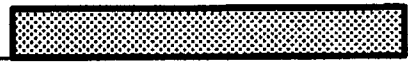
講話を聞いて、感想を書きましょう。
しっかり振り返り、心を込めて書きましょう。



講話を聞いて、知識を持ち、自分の気持ちを
素直に持つことを大切にします。いつかの気持ち
だけが軽々しくしてはダメだし、命の重さを
きちんと理解して責任を持っておきます。
大人になつたらといて全って軽く
考えたいようにします。



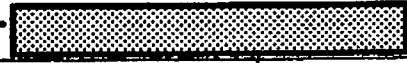
講話を聞いて、感想を書きましょう。
しっかり振り返り、心を込めて書きましょう。



今日はお休みの中講話をしていたのでありがたうございしました。
最近ニュースで小生犯罪についてやっていたので、とても勉強になりました。
また、思春期には気持ちが変わりやすいと聞いて、節だけが今このような
感じではないんだと感じました。今日の講話を聞いて私は、自分の考え
大切に、嫌なことをはっきり言い、自分の考えを素直に伝えるようにしたい
です。今日は本当にありがたうございしました！



講話を聞いて、感想を書きましょう。
しっかり振り返り、心を込めて書きましょう。



今日の講話はとてもわかりやすく、理解しやすい講話でした。
最近では大人だけでなく、中高、小学生でもトラブルが"多い"
時代になってきました。お話を聞いたことで、今度あつたに思っ
いた番も少し解決しました。今日話したのと同じくこれから高
校生になるからという意味だと思えますが、もう少し早い
時期の方が"ありがた"がたです。これから自分
を守り、しっかり見守めてほしいと思います。



講話を聞いて、感想を書きましょう。
しっかり振り返り、心を込めて書きましょう。



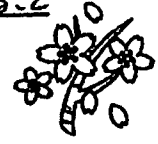
今日、学んだことはいろいろとばかり
で、いい授業にはまりました。特に生命の
誕生、男と女の心身の違いが心にのこりました。
出産は、秋の夜長に大変なことだとは思
います。自分の意見をしっかりと述べ、
断わりたいところを断わりたいと思
います。断わりたいところを断わ
りたいところを断わりたいと思
います。



講話を聞いて、感想を書きましょう。
しっかり振り返り、心を込めて書きましょう。



私は「性」に関することに関心を持つことが、良かったので、今日の講
話を聞いて、思春期になるとは、入学に閉れる大事なことだと知りまし
た。男と女に、心も体も変わってきていることが、良かったので、断のこと
をよく知るようにしようと思えました。行動には責任を持ち、自分の意見
や相手の気持ちを大切にしていこうと思ひます。この内容を、知るこ
とができ、とても勉強になりました。今日のことは、今後生活して
いこうと思ひます。講話を聞いていただき、ありがとうございました。



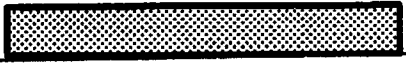
講話を聞いて、感想を書きましょう。
しっかり振り返り、心を込めて書きましょう。



今朝のような講話は聞いたことがなかった。初めてのことがいろいろ
聞いたので良かった。自分の意見だけでなく、相手の意見もしっかり
聞くことにきり、大切なことは思いをしっかりと伝えることだと思
いました。これは、性被害の加害者、被害者にならないよう、自分の
体と大事にしたり、相手の体と大事にしたいです。また、今日の
学習をこれから生きて役に立て、他人を助けることには、積極的に
参加したいと思ひます。



講話を聞いて、感想を書きましょう。
しっかり振り返り、心を込めて書きましょう。



今日の講話で自分がどのような過程で生まれてきたかが
よくわかりました。また、子どもを生むのには女性にたく
さんの苦勞がかかるのがわかりました。なので
将来的にそういう場面があったら今日の講話を
思い出して支えられるようにしたいです。



資料4

【小学校 使用パワーポイント教材抜粋】

春を迎える君たちへ

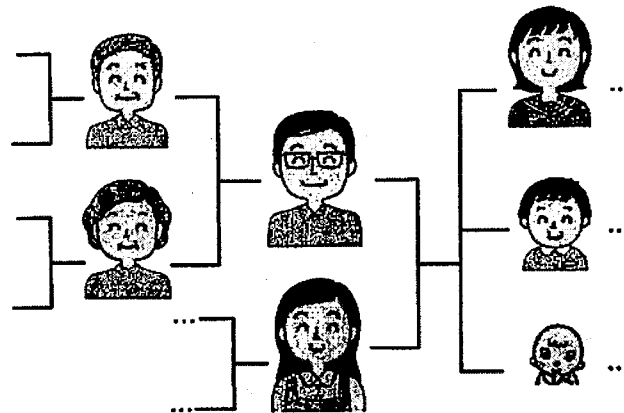


印西市健康増進課

皆さん、こんにちは。

これからお話する内容は、ちょっと恥ずかしかったり難しかったりする場面もあるかもしれませんが冷やかしたりせず、また難しいな、嫌だなと思ったら目を閉じて大丈夫ですので自分のペースで聞いてください。

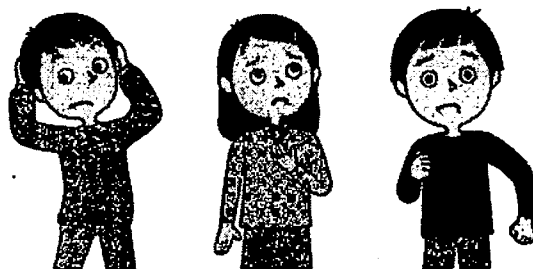
命は、つながっている！



赤ちゃんが産まれるということは、その赤ちゃんにはお父さんとお母さんがいます。そのお父さんとお母さんにも、それぞれお父さんとお母さん（おじいさん、おばあさん）がいて、さらに・・・と、どんどんいのちはつながってきました。

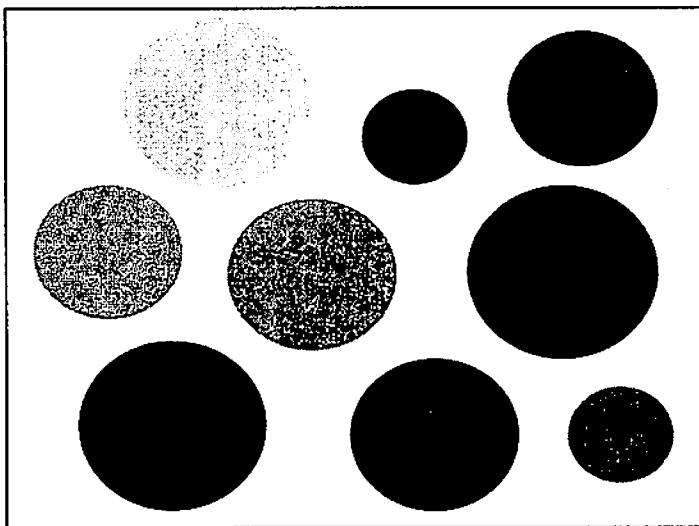
みなさんも、たくさんのいのちのおかげで、約12年前に誕生したのですね。

思春期になると 心もおとなに近づきます！



思春期を迎えると、子どもの心とおとなの心がいたりきたりして、急にイライラしたり、不安になったりすることがよくあります。お父さんやお母さんにいろいろ言われて、ちょっとムツとしてしまう時はありませんか？

自分のことは自分でやりたい、でも、時々おとなに甘えたいと思う気持ちもある。これが今の皆さんの年頃です。この不安定な気持ちは、思春期特有とされているので、思春期が過ぎたらすっきりしてしまうことが多いです。

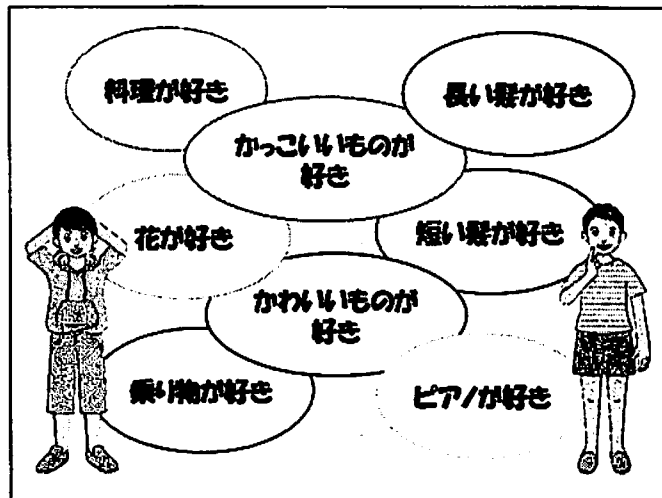


「自分らしさ」ということを考えてみたいと思います。

「好きだ」と思うものは、人それぞれ違いますね。

みなさんはどの色が好きですか？

青が好きな女の子も、赤が好きな男の子もきっといますね。選ぶ色は、女だから…男だから…ではなくていいのです。自分が好きだと思える色を選べばいいと思います。自分の好きなものを好きと言えらって大切なことです。



では、これはどうでしょう？自分に当てはまるものはありますか？

「〇〇が好き」だけでは男か女か分かりませんね。

男の子でもかわいいものが好きだったり料理が好きな人もいます。女の子でも、かっこいい服装が好きだったり、短い髪型が好きな人もいます。

自分が好きになったものはそれでいい。先ほどの「好きな色」と同じように、それが「自分らしさ」です。男だから、女だから・・・ではなく、人それぞれ、好きなものは好きでいいのです。無理に周りに合わせることなく今のままの自分でこれからも過ごして行ってほしいと思います。そして自分らしさを大切にすることと同じくらい、周りの人のその人らしさもぜひ大切にしていきましょう。



みなさんには、いろいろな人生が待っています。
これからも自分らしく生きていきましょう！

たくさんの奇跡を経てつながってきたいのち。いのちがあるからこそ、今、たくさんの人との日々の関係をつなげることができていますね。

一人一人いいところも悪いところもあって当たり前です。一人一人が大切な人です。

あなたも、そして隣にいる友だちも同じように大切ないのちを持った一人です。

育つ環境が違ったり、育っていく早さが一人一人違ったり、違って当たり前です。

中学生になるみなさん。みなさんには、いろいろな人生が待っています。

みなさんが、自分らしく生きていけることを心から願っています。

資料 6

事前アンケート 集計結果

A小：6名 B小：82名 C小：87名

単位：%

1 当てはまることに○を付けましょう

(1)受精の仕組み (いのはじまりの仕組み)

①よく知っている

A小	B小	C小	全体
50.0	28.0	42.5	36.0

②何となく知っている

A小	B小	C小	全体
33.3	61.0	48.3	53.7

③よくわからない

A小	B小	C小	全体
16.7	11.0	9.2	10.3

(2)胎児 (母親のおなか中の赤ちゃん) の成長

①よく知っている

A小	B小	C小	全体
50.0	39.0	51.7	45.7

②何となく知っている

A小	B小	C小	全体
50.0	57.3	43.7	50.3

③よくわからない

A小	B小	C小	全体
0.0	3.0	4.0	4.0

(3)赤ちゃんの誕生

①よく知っている

A小	B小	C小	全体
16.7	35.4	52.9	43.4

②何となく知っている

A小	B小	C小	全体
50.0	54.9	44.8	49.7

③よくわからない

A小	B小	C小	全体
33.3	9.8	2.3	6.9

(4)思春期の女子の体つきの変化

①よく知っている

A小	B小	C小	全体
33.3	32.9	42.5	37.7

②何となく知っている

A小	B小	C小	全体
33.3	35.4	37.9	36.6

③よくわからない

A小	B小	C小	全体
33.3	31.7	19.5	25.7

(5)思春期の女子の体の中の変化

①よく知っている

A小	B小	C小	全体
33.3	23.2	31.0	27.4

②何となく知っている

A小	B小	C小	全体
16.7	35.4	34.5	34.3

③よくわからない

A小	B小	C小	全体
50.0	41.5	34.5	38.3

(6)思春期の男子の体つきの変化

①よく知っている

A小	B小	C小	全体
50.0	23.2	33.3	29.1

②何となく知っている

A小	B小	C小	全体
33.3	51.2	61.1	50.3

③よくわからない

A小	B小	C小	全体
16.7	25.6	19.4	20.6

(7)思春期の男子の体の中の変化

①よく知っている

A小	B小	C小	全体
0.0	12.2	21.8	16.6

②何となく知っている

A小	B小	C小	全体
16.7	51.2	47.1	48.0

③よくわからない

A小	B小	C小	全体
83.3	36.6	31.0	35.4

(8)思春期の心の変化

①よく知っている

A小	B小	C小	全体
33.3	25.6	49.4	37.7

②何となく知っている

A小	B小	C小	全体
50.0	53.7	34.5	44.0

③よくわからない

A小	B小	C小	全体
16.7	20.7	16.1	18.3

2 自分も相手 (友達・家族など) も大切にするために、どのようなことを心がけていますか?

当てはまるもの全てに○をつけましょう。

①自分の考えを素直に言う

A小	B小	C小	全体
50.0	50.0	72.4	61.1

②自分を好きになる

A小	B小	C小	全体
16.7	22.0	48.3	34.9

③相手に無理に合わせない

A小	B小	C小	全体
66.7	42.7	59.8	52.0

④相手の気持ちを思いやる

A小	B小	C小	全体
33.3	67.1	72.4	68.6

⑤嫌なことははっきりと断る

A小	B小	C小	全体
50.0	58.5	71.3	64.6

⑥自分の身は自分で守る

A小	B小	C小	全体
100.0	82.9	82.8	83.4

⑦自分の行動に責任を持つ

A小	B小	C小	全体
66.7	64.6	72.4	68.6

⑧人と違うことを否定しない

A小	B小	C小	全体
83.3	61.0	67.8	65.1

⑨情報を正しく判断・選択する

A小	B小	C小	全体
33.3	63.4	55.2	58.3

⑩いのちを大切にする

A小	B小	C小	全体
100.0	82.9	87.4	85.7

⑪何かあったら相談する

A小	B小	C小	全体
50.0	43.9	67.8	56.0

⑫その他

A小	B小	C小	全体
0.0	1.2	4.6	2.9

事後アンケート 集計結果

1 今日の学習について、当てはまることに○をつけましょう

(1) いのちの誕生

①よくわかった

A小	B小	C小	全体
100.0	69.5	93.1	82.3

②何となくわかった

A小	B小	C小	全体
0.0	29.3	6.9	17.1

③よくわからなかった

A小	B小	C小	全体
0.0	1.2	0.0	0.6

(2) 思春期の体の変化

①よくわかった

A小	B小	C小	全体
100.0	59.8	81.6	72.0

②何となくわかった

A小	B小	C小	全体
0.0	39.0	17.2	26.9

③よくわからなかった

A小	B小	C小	全体
0.0	1.2	1.1	1.1

(3) 思春期の心の変化

①よくわかった

A小	B小	C小	全体
100.0	67.1	86.2	77.7

②何となくわかった

A小	B小	C小	全体
0.0	32.9	13.8	22.3

③よくわからなかった

A小	B小	C小	全体
0.0	0.0	0.0	0.0

2 今日の学習で一番印象に残ったことは何ですか

①いのちの誕生

A小	B小	C小	全体
66.7	51.2	67.8	60.0

②思春期の体の変化

A小	B小	C小	全体
0.0	8.5	1.1	4.6

③思春期の心の発達

A小	B小	C小	全体
50.0	28.0	26.4	28.0

④その他

A小	B小	C小	全体
0.0	1.2	0.0	0.6

⑤特になし

A小	B小	C小	全体
0.0	11.0	4.6	7.4

単位：%

3 今日の学習でもっと聞きたかったことは何ですか

①いのちの誕生

A小	B小	C小	全体
50.0	28.0	48.3	38.9

②思春期の体の変化

A小	B小	C小	全体
0.0	9.8	1.1	5.1

③思春期の心の発達

A小	B小	C小	全体
50.0	61.0	46.0	53.1

④その他

A小	B小	C小	全体
0.0	1.2	4.6	2.9

4 自分も相手（友達・家族など）も大切にするために、どのようなことを心がけていますか？

当てはまるもの全てに○をつけましょう。（事前アンケートと比較）

①自分の考えを素直に言う

	A小	B小	C小	全体
事前	50.0	50.0	72.4	61.1
事後	83.3	70.7	83.9	77.7

②自分を好きになる

	A小	B小	C小	全体
事前	16.7	22.0	48.3	34.9
事後	33.3	30.5	55.2	42.9

③相手に無理に合わせない

	A小	B小	C小	全体
事前	66.7	42.7	60.9	52.6
事後	100.0	65.9	81.6	74.9

④相手の気持ちを思いやる

	A小	B小	C小	全体
事前	33.3	67.1	72.4	68.6
事後	50.0	79.3	88.5	82.9

⑤嫌なことははっきりと断る

	A小	B小	C小	全体
事前	50.0	58.5	71.3	64.6
事後	50.0	70.7	74.7	72.0

⑥自分の身は自分で守る

	A小	B小	C小	全体
事前	100.0	82.9	82.8	83.4
事後	83.3	87.8	86.2	86.9

⑦自分の行動に責任を持つ

	A小	B小	C小	全体
事前	66.7	64.6	72.4	68.6
事後	83.3	78.0	77.0	77.7

⑧人と違うことを否定しない

	A小	B小	C小	全体
事前	83.3	61.0	67.8	65.1
事後	83.3	65.9	81.6	74.3

⑨情報を正しく判断・選択する

	A小	B小	C小	全体
事前	33.3	63.4	55.2	58.3
事後	50.0	65.9	63.2	64.0

⑩いのちを大切にす

	A小	B小	C小	全体
事前	100.0	82.9	87.4	85.7
事後	83.3	95.1	95.4	94.9

⑪何かあったら相談する

	A小	B小	C小	全体
事前	50.0	43.9	67.8	56.0
事後	66.7	51.2	86.2	69.1

⑫その他

	A小	B小	C小	全体
事前	0.0	1.2	4.6	2.9
事後	0.0	0.0	1.1	0.6

資料7

6年生保護者むけほけんだより

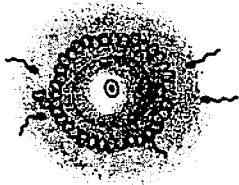
印西市思春期保健事業

春を迎える君たちへ

月 日、市の助産師さんを講師にお招きし、6年生を対象としたいのちの授業「春を迎える君たちへ」が行われました。

もうすぐ卒業を迎える子どもたちが、改めて「自分の体と心」を見つめる時間となりました。

「いのちのはじまり」



自分たちの最初はどのくらいの大きさだったのでしょうか。紙に針で穴をあけた、実際の大きさに近いものを見せていただき、そのはじまりの小ささに驚いていました。

ひとつの卵子とひとつの精子が会って「受精卵」となり、その後約10か月をかけて母のお腹の中で成長し、生まれてきた私たち。



今、ここに生きていることは奇跡だということ改めて感じました。

「思春期の体と心」

6年生はまさに今、思春期という時期にあります。男の子から男性へ、女の子から女性へ、変化が始まる時期です。

まずは体の外側や内側にどのような変化があるのかという話をさせていただきました。この時期の成長には個人差がとても大きいため、人と比べるのではなく自分の変化を捉えることが大切です。

また、思春期は心も発達し、いろいろな戸惑いも多くなる時期です。心の発達にも個人差・男女差があります。

好きになること・もの・気持ちも人それぞれ。ペースも人それぞれです。

人と違くと不安になることがありますが、人と違うことは、「自分らしさ」です。自分の好きなものを「好き」と言えることが大切です。無理に周りに合わせるのではなく、今のままの自分でこれからも過ごして欲しいと願っています。そして自分らしさを大切にすることと同じくらい、周りの人の「その人らしさ」もぜひ大切にしていきたいです。



たくさんの奇跡を経てつながってきたいのち。

中学生になる6年生の児童が、自分らしく生きていけることを心から願っています。



【児童の感想より】

- これからの自分をもっと大切にしたいと思った。
- イライラすることがよくあるけど、それも心の成長だと知って少し落ち着いた。
- 知っていたこともあるけど、模型や赤ちゃん人形を使ってくれたので、とても分かりやすかった。

より良く生きるための心の教育

性に関する指導

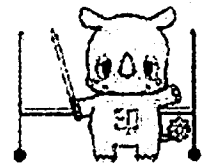
印西市思春期保健事業の取り組み

皆さんは「性に関する指導」と聞いて、どんなイメージを持ちますか？ 多くの人は、まず、男女の体のつくりや発育などを思い浮かべることが多いと思います。

「性」の文字は、りっしんべん（立心偏）の「心」と、「生」から成り立っています。自分らしく生き、相手を思いやり大切に「心」、「性」に関する指導とはまさに人がより良く生きていくための教育といえます。

印西市では、平成二十八年（昭和三十三年）から思春期保健事業として、新生児科医師による「いのちの授業」を行っています。三年周期で全中学校を巡回する計画で、今年度で一巡目が終了しました。

また、この事業をきっかけに、市の保健師・助産師による授業が小学六年生、中学三年生を対象に開始されました。命の誕生にかかわる専門的立場の講師からお話を聞くことができるようになりました。



小学六年生対象 春を迎える君たちへ

小学校では道徳、生活科、保健、理科などの授業で、各学年の発達に応じて、生命尊重や性に関連する内容を学習しています。

また、自分の命や体を大切にするための「自己肯定感」を育てる取り組みは、学級活動や行事を中心に、学校生活全般で行われています。

今年度行われた助産師・保健師による授業の様子と感想です。

「実際の重さの赤ちゃん人形



を抱く貴重な体験ができた。」

「授業で学んだこと以外にも初めて知ることがたくさんあった。個人差があるから友達が悩んでしまっているときは励ましてあげたいと思った。」

「自分をしっかり持つことが大事だとわかった。」

「復習もできたが、知らないこともたくさん知れたのでよかった。」

「男子の成長もよくわかった。命は繋がっていて命を大事にするのを改めて感じた。人それぞれ違っても自分らしくいてよい、と学んだ。」

「つい怒ったりしてしまいが思春期におこる心の変化だと学んだ。不安に思ったりせず

に過ごそうと思った。」

現在小学校では、モデル校のみの実施ですが、今後、全

校の実施を目指し、検討を進めています。



中学三年生対象 伝えたい「生」と「性」

自分と相手を大切にするために

昨年度は、印西中学校、木刈中学校、印旛中学校で実施しました。

生徒の感想からは、

「人間の誕生は簡単なことではなく、あたりまえでもない奇跡の連続だということに感動した。」

「子どもを産むことは大きな責任が生じることが分かった。」

「男子と女子で考え方の違いが大きいことに驚いた。」

「相手のことをよく知り、お互いを理解することが大切なことを知った。」

「自分が被害者にも加害者にもならないようこれからの生活に気を付けたい。」

「自分の行動に責任を持って、思ったことをしっかり言えなければいけないのだなと思っ

た。」などが聞かれました。

命の大切さ、お互いを思いやる心などを学ぶとともに、卒業を前に自らの将来や今後の生活についても考

える良い機会となりました。

今年度も、三月上旬に実施する予定です。

印西市の子どもたちが、大切な人生をより良いものにするように、これからも家庭・学校・地域が共に協力していきたいと思えます。